

人事委員会事務局決算の概要

1 決算総括

人事委員会は中立的で独立した人事行政の専門機関として、職員採用試験や人事行政に係る報告及び勧告等の業務を実施している。

令和4年度は、多様で有為な人物を確保するため、広報活動の充実を図るとともに、若者の就業意識の変化や転職市場の活況、秋以降に就職活動を行っている新卒者がいることに着目し、上級I「秋季枠」採用試験を試行実施した。

また、職員の勤務条件が社会一般の情勢に適応したものとなるよう、給与等に関する報告・勧告を行うとともに、各事業場の勤務状況等を調査し、必要な助言等を行う事業場調査を実施した。

加えて、行財政改革計画に掲げる民間ビルの賃料削減及び区役所の空きスペース活用の方針に基づき、執務室を東山区総合庁舎に移転した。

今後とも、職員採用試験の在り方や広報活動などに関する様々な方策並びにより本市にふさわしい給与制度や勤務条件について検討を行い、本市の職員力と組織活力の向上を目指していく。

2 重点取組の実績

(1) 有為な人物の採用

取組名	実績
人物重視による職員採用試験の実施	・第1次試験から受験者全員と個別面接を行う上級I「京都方式」をはじめ、全ての採用試験で人物重視の選考を実施
広報活動の充実	・職員採用ガイダンスや、大学等でのガイダンスの実施、合同企業説明会への参加、若手職員による座談会等の動画配信など、多様な手法、媒体を通じて市職員の仕事の魅力発信を実施 ・技術職対象の現場見学会の実施や、理系に特化した合同企業説明会への参加に加え、技術職の働く現場のイメージ動画の作成・発信など、技術職に係る広報活動を充実

(2) 適切な勤務条件の確保

取組名	実績
給与その他の勤務条件に関する報告・勧告の適切な実施	・民間給与と職員給与の比較に基づき、国の制度との均衡等を考慮のうえ、給与に関する報告及び勧告を実施 ・給与以外の勤務条件について、職員の確保・育成、長時間労働の是正をはじめとする職員の勤務環境の整備、仕事と生活の両立支援及び公務員倫理の確保と再徹底の観点等を踏まえた報告を実施 ・労働関係法令の周知・啓発及び適切な勤務条件の確保等に向けた取組の支援を目的に、事業場調査を実施

(単位:千円)

3 人事委員会事務局所管の決算額

(1) 一般会計

ア 歳出

款項	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
総務費	42,100	34,977	-	7,123
人事委員会費	42,100	34,977	-	7,123

4 人事委員会事務局主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	42,100	42,100	34,977	7,123
(1 人事行政)		42,100	42,100	34,977	7,123
人 事 行 政	職員任用 (採用試験等)	27,980	27,980	23,279	4,701
	人事委員会報告・勧告	436	436	183	253
	公平審査その他調査	1,479	1,479	576	903
	人事委員会運営	1,365	1,365	789	576
	執務室移転	10,840	10,840	10,150	690

(人事委員会事務局-1)